

こんなに進んだ南海トラフ地震の防災研究

復旧・復興をスムーズに進めるために自治体の対策から

2025年度第8期講座(全2回)

地 震 火 災 防 災 と と

南海トラフ地震

8期目を迎えた「地震と火山と防災」は、南海トラフ地震をテーマに取り上げます。国難とも言える南海トラフ地震への防災講座をオンライン配信の利点を活かして日本中にお届けします。「これだけは知ってほしい」情報を学ぶ講義に加え、東日本大震災を経験した語り部による「震災の経験と教訓が未来の命を守る力になる」講話があります。自然災害が起きてから「もっと準備できたのに」と思うのでは遅いと皆さん気づいているはずですよ。専門家や経験者だからこそ伝えられる日頃の備えの大切さを学び、防災行動へつなげるきっかけになればと思います。

2026年1月23日(金)・30日(金)

【配信時間】19:30～21:00

【視聴方法】オンライン配信(Zoom ウェビナー)

※一家族・1アカウントでもご参加いただけます。 ※本講座の録音、録画、撮影はご遠慮ください。
※視聴される際はWi-Fi環境が無制限になっているかを必ず事前にご確認ください。

要事前申込
参加無料

【各回先着】

200人

わかっていたのに、あの時できなかったこと

主 催・お問い合わせ：静岡県立大学グローバル地域センター TEL:054-245-5600 FAX:054-245-5603

<https://www.global-center.jp> E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

共 催：香川大学創造工学部創造工学科 防災・危機管理コース

文部科学省科学技術試験研究委託事業「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」



静岡県立大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

NaDiR

1月23日
(金)

19:35~20:05 『復旧・復興をスムーズに進めるために～自治体の対策から～』

香川大学創造工学部研究員 笠井武志

お申し込みはこちら



申込期限:1月22日(木)

20:05~20:35 『こんなに進んだ南海トラフ地震の防災研究』

防災科学技術研究所上席研究員 高橋成実

講師

笠井 武志 かさい たけし

香川大学創造工学部研究員

香川大学創造工学部研究員。博士(工学)(2023年取得)。元坂出市総務部職員課危機監理室 危機監理専門官。消防士・救急救命士として各種災害対応・災害医療などに取り組んだ。(一財)消防防災科学センターの図上訓練指導員として全国の自治体などに出向き図上訓練を指導した。自治体における全庁型防災・危機管理体制構築に向けた人材育成プログラムの開発も手がけた。



講師

高橋 成実 たかはし なるみ

防災科学技術研究所上席研究員

防災科学技術研究所上席研究員・連携研究フェロー。海洋研究開発機構上席研究員としてクロスアポイントメント。文部科学省「南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する地震防災研究プロジェクト」の課題「【工学・社会科学・地域連携研究】連鎖複合災害に備える地域防災力強化研究」の代表を務める。海底観測網の開発や即時津波予測の研究に従事。

1月30日
(金)

19:35~20:05 『わかっていたのに、あの時できなかったこと』

3.11メモリアルネットワーク語り部さん 草島真人

お申し込みはこちら



申込期限:1月29日(木)

20:05~20:35 『活断層のリアル 南海トラフ地震の前後に
内陸地震が活発化するのを知っていましたか?』

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門客員教授 尾池和夫

語り部

草島 真人 くさじま まさと

東日本大震災津波伝承館解説員

家庭教師、東日本大震災津波伝承館解説員。震災前から地域の避難訓練には参加しハザードマップも確認していたが、2度も海に近い自宅に戻り、津波を見るまでは避難行動はとらなかった。ギリギリで津波にのまれず避難したが、自宅も含め住んでいた地区全体は流出。現在は、造成し新しく生まれた街に 2017 年に自宅を再建した。震災前は殆ど関わらなかった地域活動に携わりながら、災害時に誰も命を落とさない地域にしたいと奔走中。



講師

尾池 和夫 おいけ かずお

静岡県立大学グローバル地域センター客員教授

静岡県立大学グローバル地域センター客員教授。静岡県立大学法人理事長・学長、京都芸術大学学長、京都大学総長、財団法人国際高等研究所所長、日本ジオパーク委員会委員長などを歴任。日本を代表する地球科学者。俳人としての顔も持ち、氷室俳句会を主宰。近著「活断層のリアル-京大元総長が語る入門講義」(PHP 新書、2025 年)をはじめ著書多数。



コーディネーターご挨拶

東日本大震災の語り部や経験者の話を現地で聞き、南海トラフ地震など自然災害に対する日頃の備えの大切さを再確認するのに彼らの真実の声は役立つつと気づきを得て本講座を企画しました。講師や語り部さんに質問できる時間もあり、防災に対して理解が深まる 90 分にします。地震・火山・津波を研究し、防災啓発教育も得意とする地球科学者。主な著書「地震と火山と防災のはなし」(編著)(成山堂書店)がある。

静岡県立大学グローバル地域センター自然災害研究部門 特任教授 楠城一嘉

公益社団法人



公益社団法人
3.11 メモリアル
ネットワーク
命をつなぐ 未来を拓く

3.11メモリアルネットワークについて

2011 年 5 月に宮城県石巻市で活動がスタート。東日本大震災の経験を根拠に据え、教訓の伝承に関わる個人・団体・施設が地域や世代を超えてネットワークでつながり、過去に向き合い未来へ備える意識を共有しながら「災害で命が失われない社会の実現」「被災者や被災地域の苦難を軽減し、再生に向かうことのできる社会の実現」を目指す。

申込方法

各講座の2次元コードまたはグローバル地域センターのウェブサイトからウェビナー登録をしてください。
登録完了後に接続方法をご案内します。

グローバル地域センター

検索

<https://www.global-center.jp>